

6 あぶらな科 (14) はくさい

病害虫	防除法	参考事項
尻腐病	(耕種的・物理的防除) 1 発病しやすい畑では連作しない。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病を認めたらソタールWDGまたはカナメフロアブルを散布する。 又はフロンサイドSCを全面土壌散布する。	
根くびれ病	・土壌消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項 を参照)。 (耕種的・物理的防除) 1 連作を避ける。 2 排水を良くする。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 ダコソイルを作条施用土壌混和する。	

病害虫	防除法	参考事項																	
根こぶ病	<p>・ 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。</p> <p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発病歴のないほ場を選定する。 2 連作を避け、あぶらな科以外の作物と4～5年以上のサイクルで輪作する。 3 発病ほ場では抵抗性品種を作付ける。 4 遊走子が根に感染するためには水が必要であるため、ほ場の排水を良くする。 5 水稲後作では高さ20～30cmの高うねとし、うね内の停滞水をなくす。 6 地温が18℃以上で発病するため、は種時期や定植時期を調整する。 7 pH7.2以上では発病が抑制されるため、土壌pHを矯正する。 8 罹病残さから休眠胞子が拡散するため、発病株は早期に抜き取り、ほ場外に持ち出して処分する。 9 発病ほ場から耕うん機等を移動する際には、機械に付着した休眠胞子を取り除くため、土をよく払い落とし、丁寧に水洗する。 10 ほ場内のあぶらな科雑草も伝染源となるため、除草を徹底する。 11 地床育苗する野菜では、4～5年間あぶらな科作物を栽培していない、排水条件の良い場所に、は種床を設置する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 薬剤によって土壌消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 2 以下の表の薬剤のいずれかで防除する。 <table border="1" data-bbox="359 963 742 1624"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>オラクル粉剤</td></tr> <tr><td>オラクル顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ダコソイル</td></tr> <tr><td>ネビジンSC</td></tr> <tr><td>ネビジン粉剤</td></tr> <tr><td>ネビジン顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ネビライト粉剤</td></tr> <tr><td>ネビリュウ</td></tr> <tr><td>フロンサイドSC</td></tr> <tr><td>フロンサイド粉剤</td></tr> <tr><td>ランマンフロアブル</td></tr> <tr><td>カルメート55</td></tr> <tr><td>石灰窒素50</td></tr> <tr><td>石灰窒素55</td></tr> <tr><td>粒状石灰窒素55</td></tr> <tr><td>粒状石灰窒素40</td></tr> </tbody> </table>	薬剤名	オラクル粉剤	オラクル顆粒水和剤	ダコソイル	ネビジンSC	ネビジン粉剤	ネビジン顆粒水和剤	ネビライト粉剤	ネビリュウ	フロンサイドSC	フロンサイド粉剤	ランマンフロアブル	カルメート55	石灰窒素50	石灰窒素55	粒状石灰窒素55	粒状石灰窒素40	
薬剤名																			
オラクル粉剤																			
オラクル顆粒水和剤																			
ダコソイル																			
ネビジンSC																			
ネビジン粉剤																			
ネビジン顆粒水和剤																			
ネビライト粉剤																			
ネビリュウ																			
フロンサイドSC																			
フロンサイド粉剤																			
ランマンフロアブル																			
カルメート55																			
石灰窒素50																			
石灰窒素55																			
粒状石灰窒素55																			
粒状石灰窒素40																			

病害虫	防除法	参考事項
<p>白斑病</p>	<p>(耕種的・物理的防除) 1 肥料切れしないようにする。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報 1 下記薬剤のいずれかを発病初期から7～10日おきに2～3回散布する。</p> <p style="text-align: center;"><u>薬剤名</u></p> <p>アフェットフロアブル オーソサイド水和剤80 ジマンダイセン/ペンコゼブ水和剤 ストロビーフロアブル ダコニール1000 トップジンM水和剤 バレード20フロアブル ロブラール水和剤</p>	<p>○ 10月中・下旬から降雨の多いときに発生する。</p>
<p>べと病</p>	<p>(耕種的・物理的防除) 1 肥料切れしないようにする。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報 1 本畑では下記薬剤のいずれかを発病初期から7～10日おきに散布する。</p> <p style="text-align: center;"><u>薬剤名</u></p> <p>アミスター20フロアブル オロンディスウルトラSC ペンコゼブ水和剤 ダコニール1000 ピシロックフロアブル フェスティバルC水和剤 フォリオゴールド プロポーズ顆粒水和剤 ホライズンドライフロアブル メジャーフロアブル ランマンフロアブル リドミルゴールドMZ レーバスフロアブル</p>	<p>○ 9月上旬ころ降雨により多く発病する。</p>
<p>黒腐病</p>	<p>(耕種的・物理的防除) 1 発病ほ場へのあぶらな科作物の連作を避ける。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報 1 Zボルドー又はコサイド3000を散布する。</p>	<p>○ 子葉頭部、葉縁等の水孔から侵入する。17℃以下では発病しない。</p>

病害虫	防除法	参考事項
<p>軟腐病</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3～4年間イネ科、まめ科の作物を作付ける。 降雨直後に農作業をしない。 病株は見つけ次第取り除く。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 微生物殺菌剤 <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> マスタピース水和剤 オリゼメート粒剤を全面土壌混和する。 本葉5～6枚ころから10～14日おきに3～4回下記薬剤のいずれかを地際や株周囲に散布する。 <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> Zボルドー キノンドーフロアブル スターナ水和剤 ドキリンフロアブル ナレート水和剤 ヨネボン水和剤 根や地際を害する害虫(後記、キスジノミハムシ、ナメクジ、線虫など)を防除しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 早播きのものに多い。 ○ 芯部に薬剤がかかると薬害がしやすい。
<p>モザイク病</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 苗床育苗の場合には、発芽直前から白寒冷紗で被覆し、有翅アブラムシの飛来を防ぐ。 直播の場合には、シルバーポリマルチ(例：ムシコン、シルバーポリトウ)する。 陸稲、さといもなどの間に間作する。 耐病性品種を用いる。 <p>(薬剤防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 発芽直後から20日ころまで、防除剤により飛来する有翅アブラムシを防除する。本項のアブラムシ類の防除を参照する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発芽直後から20日間特に数日のうちに最も多く伝染する。 ○ 早播裸地栽培に多い。 ○ 感染する期間が長いので、発生の多い所では、結球期近くまで薬剤を散布する。

病害虫	防除法	参考事項																					
<p>ヨトウムシ</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前の防除を徹底する。 作物残さを適切に処分する。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 下記薬剤のいずれかを使用する。 <table border="1" data-bbox="359 689 742 1496"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>オルトラン粒剤/ジェイエース粒剤</td></tr> <tr><td>オルトラン水和剤</td></tr> <tr><td>ジェイエース水溶剤</td></tr> <tr><td>スカウトフロアブル</td></tr> <tr><td>トレボン乳剤</td></tr> <tr><td>マブリック水和剤20</td></tr> <tr><td>フェニックス顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>プレバソンフロアブル5</td></tr> <tr><td>ヨーバルフロアブル</td></tr> <tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ディアナSC</td></tr> <tr><td>アフファーム乳剤</td></tr> <tr><td>カスケード乳剤</td></tr> <tr><td>ファルコンフロアブル</td></tr> <tr><td>マトリックフロアブル</td></tr> <tr><td>アクセルフロアブル</td></tr> <tr><td>コテツフロアブル</td></tr> <tr><td>トルネードエースDF</td></tr> <tr><td>プレオフロアブル</td></tr> <tr><td>プロフレアSC</td></tr> </tbody> </table>	薬剤名	オルトラン粒剤/ジェイエース粒剤	オルトラン水和剤	ジェイエース水溶剤	スカウトフロアブル	トレボン乳剤	マブリック水和剤20	フェニックス顆粒水和剤	プレバソンフロアブル5	ヨーバルフロアブル	スピノエース顆粒水和剤	ディアナSC	アフファーム乳剤	カスケード乳剤	ファルコンフロアブル	マトリックフロアブル	アクセルフロアブル	コテツフロアブル	トルネードエースDF	プレオフロアブル	プロフレアSC	
薬剤名																							
オルトラン粒剤/ジェイエース粒剤																							
オルトラン水和剤																							
ジェイエース水溶剤																							
スカウトフロアブル																							
トレボン乳剤																							
マブリック水和剤20																							
フェニックス顆粒水和剤																							
プレバソンフロアブル5																							
ヨーバルフロアブル																							
スピノエース顆粒水和剤																							
ディアナSC																							
アフファーム乳剤																							
カスケード乳剤																							
ファルコンフロアブル																							
マトリックフロアブル																							
アクセルフロアブル																							
コテツフロアブル																							
トルネードエースDF																							
プレオフロアブル																							
プロフレアSC																							

病害虫	防除法	参考事項																															
アオムシ	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 育苗床を防虫ネット等により被覆する。 2 ヘアリーベッチ、大麦等を使用したリビングマルチの活用により、密度抑制を図る。 3 ほ場周辺の雑草（特にあぶらな科雑草）の防除に努める。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発生予察情報、ほ場の見回り等に基づき、若齢幼虫時に薬剤散布等を実施する。 2 作物残さを適切に処分する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 下記薬剤のいずれかを使用する。 <table border="1" data-bbox="359 622 742 1825"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>オルトラン粒剤/ジェイエース粒剤</td></tr> <tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td></tr> <tr><td>ダントツ粒剤</td></tr> <tr><td>モスピラン粒剤</td></tr> <tr><td>オルトラン水和剤</td></tr> <tr><td>ジェイエース水溶剤</td></tr> <tr><td>スカウトフロアブル</td></tr> <tr><td>トレボン乳剤</td></tr> <tr><td>マブリック水和剤20</td></tr> <tr><td>フェニックス顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>プレバソンフロアブル5</td></tr> <tr><td>ヨーバルフロアブル</td></tr> <tr><td>ダントツ水溶剤</td></tr> <tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td></tr> <tr><td>バダンSG水溶剤</td></tr> <tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ディアナSC</td></tr> <tr><td>アニキ乳剤</td></tr> <tr><td>アフーム乳剤</td></tr> <tr><td>カスケード乳剤</td></tr> <tr><td>ファルコンフロアブル</td></tr> <tr><td>マッチ乳剤</td></tr> <tr><td>アクセルフロアブル</td></tr> <tr><td>コテツフロアブル</td></tr> <tr><td>トルネードエースDF</td></tr> <tr><td>ハチハチ乳剤</td></tr> <tr><td>ファインセーブフロアブル</td></tr> <tr><td>プレオフロアブル</td></tr> <tr><td>プロフレアSC</td></tr> <tr><td>リーフガード顆粒水和剤</td></tr> </tbody> </table>	薬剤名	オルトラン粒剤/ジェイエース粒剤	スタークル/アルバリン粒剤	ダントツ粒剤	モスピラン粒剤	オルトラン水和剤	ジェイエース水溶剤	スカウトフロアブル	トレボン乳剤	マブリック水和剤20	フェニックス顆粒水和剤	プレバソンフロアブル5	ヨーバルフロアブル	ダントツ水溶剤	モスピラン顆粒水溶剤	バダンSG水溶剤	スピノエース顆粒水和剤	ディアナSC	アニキ乳剤	アフーム乳剤	カスケード乳剤	ファルコンフロアブル	マッチ乳剤	アクセルフロアブル	コテツフロアブル	トルネードエースDF	ハチハチ乳剤	ファインセーブフロアブル	プレオフロアブル	プロフレアSC	リーフガード顆粒水和剤	
薬剤名																																	
オルトラン粒剤/ジェイエース粒剤																																	
スタークル/アルバリン粒剤																																	
ダントツ粒剤																																	
モスピラン粒剤																																	
オルトラン水和剤																																	
ジェイエース水溶剤																																	
スカウトフロアブル																																	
トレボン乳剤																																	
マブリック水和剤20																																	
フェニックス顆粒水和剤																																	
プレバソンフロアブル5																																	
ヨーバルフロアブル																																	
ダントツ水溶剤																																	
モスピラン顆粒水溶剤																																	
バダンSG水溶剤																																	
スピノエース顆粒水和剤																																	
ディアナSC																																	
アニキ乳剤																																	
アフーム乳剤																																	
カスケード乳剤																																	
ファルコンフロアブル																																	
マッチ乳剤																																	
アクセルフロアブル																																	
コテツフロアブル																																	
トルネードエースDF																																	
ハチハチ乳剤																																	
ファインセーブフロアブル																																	
プレオフロアブル																																	
プロフレアSC																																	
リーフガード顆粒水和剤																																	

病害虫	防除法	参考事項
アブラムシ類	<p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <p>1 気門封鎖剤</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>エコピタ液剤</p> <p>オレート液剤</p> <p>サフオイル乳剤</p> <p>サンクリスタル乳剤</p> <p>粘着くん液剤</p> <p>フーモン</p> <p>ムシラップ</p> <hr/> <p>2 発生初期から防除剤を散布する。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>エルサン乳剤</p> <p>オルトラン水和剤</p> <p>テルスター水和剤</p> <p>トレボンMC</p> <p>トレボン乳剤</p> <p>マブリック水和剤20</p> <p>パダンSG水溶剤</p> <p>アクタラ顆粒水溶剤</p> <p>アドマイヤー顆粒水和剤</p> <p>アドマイヤーフロアブル</p> <p>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</p> <p>ダントツ水溶剤</p> <p>モスピラン顆粒水溶剤</p> <p>ベリマークSC</p> <p>トランスフォームフロアブル</p> <p>ウララDF</p> <p>モベントフロアブル</p> <p>コルト顆粒水和剤</p> <p>ハチハチ乳剤</p> <p>オルトラン粒剤</p> <p>ジェイエース粒剤</p> <p>アクタラ粒剤5</p> <p>アドマイヤー1粒剤</p> <p>スタークル/アルバリン粒剤</p> <p>ダントツ粒剤</p> <p>モスピラン粒剤</p> <p>ブリロッソ粒剤オメガ</p> <p>セフィーナDC</p>	

病害虫	防除法	参考事項																												
<p>コオロギ類</p>	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 下記薬剤のいずれかを使用する。</p> <table border="1" data-bbox="359 280 1121 510"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>使用方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">【コオロギ類】</td> </tr> <tr> <td>アクセルベイト</td> <td>株元散布</td> </tr> <tr> <td>ネキリエースK/カルモック</td> <td>土壌表面株元処理</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【コオロギ】</td> </tr> <tr> <td>デナボン5%ベイト</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	使用方法	【コオロギ類】		アクセルベイト	株元散布	ネキリエースK/カルモック	土壌表面株元処理	【コオロギ】		デナボン5%ベイト																		
薬剤名	使用方法																													
【コオロギ類】																														
アクセルベイト	株元散布																													
ネキリエースK/カルモック	土壌表面株元処理																													
【コオロギ】																														
デナボン5%ベイト																														
<p>コナガ</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <p>1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。</p> <p>2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。</p> <p>(判断、防除に関する措置)</p> <p>1 卵や若齢幼虫が寄生している葉を見つけ次第、除去する。</p> <p>2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。</p> <p>3 結球野菜では、結球前の防除を徹底する。</p> <p>4 作物残さを適切に処分する。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 天敵微生物製剤ボタニガード ES を散布する。</p> <p>2 交信かく乱剤</p> <table border="1" data-bbox="359 1014 742 1160"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コナガコン</td> </tr> <tr> <td>コナガコンープラス</td> </tr> <tr> <td>コンピューザーV</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 BT 剤</p> <table border="1" data-bbox="359 1227 1121 1691"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エスマルクDF</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エコマスターBT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クオークフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サブリーナフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジャックポット顆粒水和剤</td> <td>発生初期(但し、結球開始前まで)</td> </tr> <tr> <td>ゼンターリ顆粒水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>チューンアップ顆粒水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>デルフィン顆粒水和剤</td> <td>薬害のおそれ</td> </tr> <tr> <td>トアローフロアブルCT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トアロー水和剤CT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フローバックDF</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	コナガコン	コナガコンープラス	コンピューザーV	薬剤名	備考	エスマルクDF		エコマスターBT		クオークフロアブル		サブリーナフロアブル		ジャックポット顆粒水和剤	発生初期(但し、結球開始前まで)	ゼンターリ顆粒水和剤		チューンアップ顆粒水和剤		デルフィン顆粒水和剤	薬害のおそれ	トアローフロアブルCT		トアロー水和剤CT		フローバックDF		
薬剤名																														
コナガコン																														
コナガコンープラス																														
コンピューザーV																														
薬剤名	備考																													
エスマルクDF																														
エコマスターBT																														
クオークフロアブル																														
サブリーナフロアブル																														
ジャックポット顆粒水和剤	発生初期(但し、結球開始前まで)																													
ゼンターリ顆粒水和剤																														
チューンアップ顆粒水和剤																														
デルフィン顆粒水和剤	薬害のおそれ																													
トアローフロアブルCT																														
トアロー水和剤CT																														
フローバックDF																														

病害虫	防除法	参考事項
<p>コナガ</p>	<p>4 コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避け、数群でのローテーション散布を行う。なお、既に抵抗性の発達している薬剤も認められるが、その程度は地域により差があるため、実際の使用状況から推測して薬剤を選択する。</p> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>パダンSG水溶剤</p> <hr/> <p>ダントツ水溶剤</p> <hr/> <p>モスピラン顆粒水溶剤</p> <hr/> <p>アニキ乳剤</p> <hr/> <p>アフーム乳剤</p> <hr/> <p>スピノエース顆粒水和剤</p> <hr/> <p>ディアナSC</p> <hr/> <p>カスケード乳剤</p> <hr/> <p>マッチ乳剤</p> <hr/> <p>アクセルフロアブル</p> <hr/> <p>グレーシア乳剤</p> <hr/> <p>コテツフロアブル</p> <hr/> <p>トルネードエースDF</p> <hr/> <p>ハチハチ乳剤</p> <hr/> <p>プレオフロアブル</p> <hr/> <p>プロフレアSC</p> <hr/> <p>モベントフロアブル</p> <hr/> <p>オルトラン粒剤</p> <hr/> <p>ジェイエース粒剤</p> <hr/> <p>スタークル/アルバリン粒剤</p> <hr/> <p>ダントツ粒剤</p> <hr/> <p>モスピラン粒剤</p> <hr/> <p>リーフガード顆粒水和剤</p> <hr/>	

病害虫	防除法	参考事項																																					
<p>ハスモンヨトウ</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前の防除を徹底する。 4 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 5 作物残さを適切に処分する。 6 常発地ではフェロモントラップを設置するなどして発生消長を確認しながら幼虫の防除を行う。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交信かく乱剤 <table border="1" data-bbox="359 835 742 952"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヨトウコン-H</td> </tr> <tr> <td>コンピューザーV</td> </tr> </tbody> </table> 2 BT 剤 <table border="1" data-bbox="359 1014 1120 1211"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコマスターBT</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クオークフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>デルフィン顆粒水和剤</td> <td>薬害のおそれ</td> </tr> <tr> <td>フローバックDF</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 3 下記薬剤のいずれかを使用する。 <table border="1" data-bbox="359 1279 1120 1742"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エルサン乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オルトラン水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジェイエース水溶剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フェニックス顆粒水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレバソソフロアブル5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アニキ乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディアナSC</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アタプロン乳剤</td> <td>幼苗期に薬害のおそれ</td> </tr> <tr> <td>ロムダンフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アクセルフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グレーシア乳剤</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 	薬剤名	ヨトウコン-H	コンピューザーV	薬剤名	備考	エコマスターBT		クオークフロアブル		デルフィン顆粒水和剤	薬害のおそれ	フローバックDF		薬剤名	備考	エルサン乳剤		オルトラン水和剤		ジェイエース水溶剤		フェニックス顆粒水和剤		プレバソソフロアブル5		アニキ乳剤		ディアナSC		アタプロン乳剤	幼苗期に薬害のおそれ	ロムダンフロアブル		アクセルフロアブル		グレーシア乳剤		
薬剤名																																							
ヨトウコン-H																																							
コンピューザーV																																							
薬剤名	備考																																						
エコマスターBT																																							
クオークフロアブル																																							
デルフィン顆粒水和剤	薬害のおそれ																																						
フローバックDF																																							
薬剤名	備考																																						
エルサン乳剤																																							
オルトラン水和剤																																							
ジェイエース水溶剤																																							
フェニックス顆粒水和剤																																							
プレバソソフロアブル5																																							
アニキ乳剤																																							
ディアナSC																																							
アタプロン乳剤	幼苗期に薬害のおそれ																																						
ロムダンフロアブル																																							
アクセルフロアブル																																							
グレーシア乳剤																																							

病害虫	防除法	参考事項												
<p>ダイコンシンクイムシ (ハイマダラノメイガ)</p>	<p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <p>薬剤名</p> <p>スタークル/アルバリン粒剤</p> <p>ダントツ粒剤</p> <p>モスピラン粒剤</p> <p>ブリロツソ粒剤オメガ</p> <p>エルサン乳剤</p> <p>スカウトフロアブル</p> <p>ブレバソフフロアブル5</p> <p>スピノエース顆粒水和剤</p> <p>ディアナSC</p> <p>アニキ乳剤</p> <p>アクセルフロアブル</p> <p>トルネードエースDF</p> <p>ハチハチ乳剤</p> <p>プロフレアSC</p>													
<p>ネキリムシ類</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 被害株元の幼虫を捕殺する。</p> <p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <p>1 下記薬剤のいずれかを使用する。</p> <p>薬剤名</p> <p>アクセルベイト</p> <p>ガードベイトA</p> <p>カルホス微粒剤F</p> <p>ダイアジノン粒剤5</p> <p>ダントツ粒剤</p> <p>デナボン5%ベイト</p> <p>ネキリエースK</p> <p>フォース粒剤</p>													
<p>ナメクジ、カタツムリ類</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 野菜くずの捨て場等の発生源を除去する。</p> <p>2 ほ場の通風や排水を良好にし、地表部を乾燥させる。</p> <p>3 農作物の過繁茂を避け、収穫後の畑はできるだけ早期に整理する。</p> <p>4 畑周辺の小かん木、小竹などの茂みを伐採整理し、不必要な石積等は取り除く。</p> <p>5 畑周辺の清掃を図った上で、潜伏場所となるような濡れむしろ等を設置し、誘引捕殺する。</p> <p>(薬剤防除) 農業登録情報【ナメクジ類】・【カタツムリ類】</p> <p>粒剤は雨が降ると有効成分が流亡してしまうので、天候を見極めて活動直前の夕刻に処理する。ハウスや温室内では、2～3日間はかん水がかからないようにする。残効期間は短い。</p> <table border="1" data-bbox="359 1792 1125 2016"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パダンSG水溶剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リーフガード顆粒水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラゴ</td> <td>温室・ハウス・ほ場・花壇</td> </tr> <tr> <td>マイキラ</td> <td>ほ場周辺雑草地の生息地</td> </tr> <tr> <td>ナメククリーン3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	パダンSG水溶剤		リーフガード顆粒水和剤		スラゴ	温室・ハウス・ほ場・花壇	マイキラ	ほ場周辺雑草地の生息地	ナメククリーン3		
薬剤名	備考													
パダンSG水溶剤														
リーフガード顆粒水和剤														
スラゴ	温室・ハウス・ほ場・花壇													
マイキラ	ほ場周辺雑草地の生息地													
ナメククリーン3														